

〈赤いプロペラ〉

いつもの公園散歩コースを歩いていると、まるで花でも咲いているかのように赤いプロペラが飛び込んできた。イロハモミジのタネだ。若葉の上からチョコンと顔を出し春風に乗って気持ちよさそうに揺れている。秋には葉っぱがきれいに紅葉するが、春先のタネもそれに負けず劣らずきれいな朱色に染まる。今まであまり気にも留めなかったが、こうやって見ると赤いプロペラは今にも飛び立たんばかりに、元気いっぱい緑の海を泳いでいる。実際に風に乗って飛び立つのはまだ半年も先になるのだろうが、出走前の競走馬のような若いエネルギーが赤い色から伝わってくるようだ。



この赤いプロペラは、初めは白っぽい色をしている。すぐ隣に同じ木があったがそこは日当たりが悪く、まだ赤く染まっていなかった。徐々に色が付き始めてやがて鮮やかな朱色になる。この、赤くなるまでの色の変化もなかなか見ものだ。この赤いプロペラがやがて熟すと茶色くなるのだが、その前に緑色になったような気がする。今年は確かめてみようと思う。